

1 題材名 アートギャラリー東小

2 題材の目標

場所や材料に働きかけつくりたいもののイメージを膨らませ、材料や用具を選択し、自分の思いを工夫して表す。

3 題材設定の理由

本題材は、児童が普段生活している学校の教室や廊下を活用し、気に入った場所に自らつくり上げた作品を配置することで理想の空間を表現するというものである。小学校解説の高学年の内容「A表現」(2)のAに、「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを見つけて表すこと」とある。「感じる」、「想像する」、「見る」、「伝え合う」といった行為は、表したいことの基となるイメージの形成と深い関わりをもつ。児童がよりよいイメージを形成し、創造性豊かな表現及び鑑賞の活動を行うためには、四つの行為が充実し、心に深く浸透するための対象が必要となる。高学年は、自己を中心とした表現から、ものや活動場所との関わりの中で自分の思いや考えを見いだす力や表現する力が育成される時期である。よって、材料や場所といった対象の特徴や、そこから感じ取ったことを基につくりだす活動を充実することが、造形的な創造活動の基礎的な能力の育成につながると考える。

本校は、2年前に新校舎が完成し、生活しやすく創造性を豊かにすることのできる環境にある。しかし、場所や材料に関する意識調査(平成24年6月19日実施、調査人数36人)から、これまでに使った材料を10種類以上挙げられた児童は6人、生活する中で、形や色などを視点に感じ取ったことを作品づくりに生かそうと考えたことがある児童は3人、お勧めの場所があると回答した児童は5人と少なかった。このことから、本学級の児童は、材料の活用経験や意識、場所への関心が低いことが明らかになった。

そこで、本題材では、材料の種類を増やし選択の幅を広げることで、発想や構想の能力を高める。場所においては、校舎全域を表現及び鑑賞の対象とし、「感じる」、「想像する」、「見る」、「伝え合う」活動を充実することで、イメージを膨らませることができると考える。そして、題材全体を通して、〔共通事項〕を視点に言語活動を工夫した指導を展開し、児童が場所や材料の形や色、動きや奥行きなどのよさや美しさを感じ取りながら表現及び鑑賞の活動を行うことができるようにする。

以上のように、児童が積極的に場所や材料に働きかけ、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を基に自分のイメージをもち、材料や用具を選択し工夫して表す活動を通して、思考・判断し、表現する力を育てることができると考え、本題材を設定した。

4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
① 場所や材料に能動的に働きかけ、自分の思いに合った作品をつくったり見たりすることを楽しもうとしている。	① 選んだ場所の特徴からイメージを膨らませ、つくりたいものの形や色を考えている。	① イメージに合った材料や用具を選択し、適切に扱いながら、表し方を工夫している。	① 身の回りの場所や作品から、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉えている。 ② 作品の形や色、場所との関わりなどのよさや美しさを感じ取っている。

## 5 指導と評価の計画（9時間扱い）

次	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準 (方法)	〔共通事項〕の視点
1	1	○作品と場所、材料との関わり合いを知る。 ・対話型鑑賞を行う。 ・インスタレーションや野外アートについて知り、感じたことを発表し合う。	鑑一① (観察、対話)	場所の様子や作品の形や色、動きや奥行きを話し合い、よさや面白さに気付く。
2	2 3	○場所から受けるイメージを大切に、作品の構想を練る。 ・学校の敷地内を自由に散策し、作品を置きたい場所を見付ける。 ・集まった材料を自由に見たり触れたりする。 ・材料の特徴や、新しい表現方法を知り、それらの生かし方を考えたり体験したりする。 ・場所や材料に能動的に働きかけ、選んだ場所をよりよくするための作品の構想を練る。	関一① (観察、学習カード、対話)  発一① (観察、学習カード)	場所の特徴を基に、自分のイメージをもつ。  様々な材料に触れて形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。
3	④ ⑤ 6 7	○自分の思いに合った材料や表現方法でつくりたいものをつくる。 ・アイデアスケッチを基に、自分の思いに合った材料や用具を選択したり、表現方法を工夫したりしてつくる。	関一① (観察、対話) 創一① (観察、対話、作品)	自分の感覚や活動を通して形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉えて表す。
4	8 9	「アートギャラリー東小」 ○選んだ場所に作品を置き、自他の作品のよさや美しさを感じ取る。 ・各自が選んだ場所に作品を置く。 ・鑑賞会をして、全体で意見交換を行う。	鑑一② (観察、対話、学習カード)	作品の形や色、動きや奥行きなどの特徴を捉え、場所との関わり方のよさや美しさに気付く。

## 6 本時の学習

### (1) 目標

場所や材料から膨らませたイメージを基に、材料や用具を選択し、楽しみながら自分の思いを工夫して表すことができる。

### (2) 準備・資料

教師…掲示資料、のこぎり、金づち、釘、電熱カッター、ホットボンド、木工用ボンド、用紙類、針金、清掃確認カード等

児童…収集した材料、学習カード、はさみ、のり、コンパス、定規、色鉛筆等

(3) 展開 (第4・5時)

学習活動・内容	・指導上の留意点, ◎評価, ◇言語活動の工夫, <u>~~~~</u> は 〔共通事項〕の視点から
<p>1 本時の学習課題について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>場所からのイメージやアイデアスケッチを基に、材料や用具の使い方や、表し方を工夫して自分の思いに合った作品を楽しくつくろう。</p> </div> <p>2 これから製作する作品についてグループで話し合う。</p> <p>(1) アイデアスケッチを基に、作品について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この場所から</li> <li>・このようなことを感じるの</li> <li>・このような作品をつくって展示したい。</li> </ul> <p>(2) 意見交換をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の説明を聞いて意見を述べ合う。</li> </ul> <p>3 場所からのイメージを基に、材料の選び方や表し方を工夫して、自分の思いに合った作品をつくる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>5 後片付けをする。</p>	<p>・前時の<u>形や色、動きや奥行きなどを視点に</u>、自らが選んだ場所や、アイデアスケッチを基に、材料や用具を選んで製作活動をしていくことを確認する。</p> <p>◇選んだ場所の写真や意図、アイデアスケッチなどを<u>形や色、動きや奥行きなどを視点に、互いに見合ったり説明し合ったり</u>することで、活動の幅の広さを感じ取らせるとともに、製作への関心をもたせたい。</p> <p>・児童が自由に話し合うことができる場の雰囲気作り心掛ける。</p> <p>◇〔共通事項〕の視点として、<u>形や色、動きや奥行きなどの具体的な気づきを話し合わせる</u>ことで、友人の意見に共感したり、新たな気づきから構成に修正を加えたり材料を変更したりすることができるようにする。</p> <p>・様々な材料を種類別に分け、共有できるスペースを設けることで、製作に幅をもたせる。</p> <p>◎材料に能動的に働きかけ、自分の思いに合った作品をつくることを楽しもうとしている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;造形への関心・意欲・態度&gt; (観察, 対話)</p> <p>・材料への働きかけが見られない児童には、対話をしながら表したいことを確かめ、共に材料を選んだり友人の様子を参考にしたりするよう助言をする。</p> <p>・材料や表現方法において新たな発見があり、一部構成を変更したいという場合には、状況に応じて認めるようにする。</p> <p>◎イメージに合った材料や用具を選択し、適切に扱いつつ、表し方を工夫している。</p> <p style="text-align: center;">&lt;創造的な技能&gt; (観察, 対話, 作品)</p> <p>・思うように製作が進まない児童には、学習カードを活用し本時の内容を再確認する。また材料と向かい合う時間を多く取らせることで、製作への意欲や新たな発想を促したい。技能面については教師と一緒に練習して定着させる。</p> <p>・<u>形や色、動きや奥行きなどのよさや美しさ</u>が感じられる表し方や学習カードの記述内容を紹介し、次時の学習の手掛かりとする。</p>